学校名	信里小学校		
ホームページURL	児童・生徒数	62名	
(1) テーマ 「インドネシアの方との交流」 テーマの分類(-ア) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他(6年を中心とした全校) 該当学年 平成11年度 6年		
(3) 活動のねらい 1. 国際化の進む社会の実状を考え、日常生活や授業の中から世界の国々との関わりを感じ取り、進んで国際交流していくような心情を育てる。 2. 昨年度までに培われた国際感覚の目をのばせるような交流を計画し、国感覚を伸ばしていく。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) <ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアに対する調べ学習 (全校児童に対して6年生が紹介した) ・インドネシアの方からお話を聞いた(全校交流) ・国語の授業(子どもが先生になり、授業をした:相手の要望による) ・一緒に学校に泊まって料理を作る。(双方の郷土料理を作り一緒に楽しむ) ・神楽学習(お別れに日本の伝統を練習して紹介したい) <p style="text-align: right;">時数(約20)</p>			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) <ul style="list-style-type: none"> ・校内体制: 6学年担任及び国際理解係が中心になり、各学級担任に提案 総合的な学習の時間を志向した学級会活動のあり方を全校研究テーマにし、共通理解を図りながら各学年実施 ・人材活用: サポーターとしてPTAの方をお願いした 学校に宿泊しての交流時、インドネシアの方を紹介していただくとき インドネシアの方との連絡役などで 			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の育成をはかりながら、地域を愛する心情、当該学年の教科における学習内容など加味しながら横断的縦断的に取り扱った。神楽等の学習は特に地域講師をお願いし、音楽専科とも連携を取りながら指導にあたった。 ・調べ学習では、情報機器が自由に活用できるように、能力を育成した。 ・問題解決学習の学習方法をしっかり把握させるために、できる限り各教科ではその手法を採用した。 			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) <ul style="list-style-type: none"> ・特に評価については考えていないが、各児童の課題に対して、どのように追究したか追究の課程でどのような力がついてきたか、どのような力を付ける必要を感じるか等を吟味した 			
(8) 成果と課題(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・課題を追究し分かったことをまとめる段階までは、たいへん意欲的にできるが、発表の段階では、やや相手意識に欠けたり、スキルに不足点が見られる実態が見えた。 ・学級会活動では、構想 追究 発表 振りかえりの各段階に分けて実施すると子どもの意識も継続できることが見えてきた 			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題